

IBM Compose Enterprise

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、会社、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者をいいます。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別個の「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

「クラウド・サービス」は、SoftLayer または AWS でホストされる IBM のマネージド・サービスとして、「Compose Data Platform」を提供します。「インスタンス」は専用の 3 ノード・クラスターで構成され、お客様は、「インスタンス」のキャパシティの範囲内で、サポート対象のデータ・サービス (以下を含みますが、これらに限定されません。) を任意に組み合わせてプロビジョニングし、それらを運用することができます。

- MongoDB
- Elasticsearch
- Redis
- PostgreSQL
- RethinkDB
- etcd
- RabbitMQ

お客様は、「クラウド・サービス」をサード・パーティー・サービス (以下が含まれますが、これらに限定されません。) と統合することもできます。

- New Relic – 「クラウド・サービス」は、MeetMe Inc. のエージェントを使用して、New Relic のプラグイン API と統合し、詳細な分析および監視を可能にします。この機能は、MongoDB、Redis、PostgreSQL および Elastic Search で利用可能です。お客様は、New Relic に直接、登録する責任を負います。
- Syslog-NG: この機能は、Syslog-NG を通じて、外部のログ・プロバイダーにログを転送します。

本「クラウド・サービス」は、個人情報またはセンシティブ情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティ要件に即して設計されていません。お客様は、お客様が「クラウド・サービス」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「クラウド・サービス」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。

「クラウド・サービス」は、以下の構成で提供されます。

1.1 IBM Compose Enterprise Starter for Softlayer

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。仮想プライベート・サーバー (Intel Xeon(R) CPU E5-2683 v3 (2.00GHz)、仮想 CPU 8 個、16GB RAM、OS 用に 25GB SAN およびデータ用に 200GB SAN、パブリック・ネットワークおよびプライベート・ネットワークのアップリンク 1Gbps)。

1.2 IBM Compose Enterprise Transactional for Softlayer

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。ベア・メタル・サーバー (Intel Xeon E5-2690 (8 コア、2.90 GHz)、vCPU 16 個、64GB RAM、960GB SSD (RAID1) x 2 基、パブリック・ネットワークおよびプライベート・ネットワークのアップリンク 2x1Gbps (ボンディング))

1.3 IBM Compose Enterprise Large Transactional for Softlayer

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。ベア・メタル・サーバー (Dual Intel Xeon E5-2690 v3 (12 コア、2.60 GHz)、256GB RAM、OS 用に 1TB SATA (RAID1) x 2 基、4TB RAID 10 SSD、パブリック・ネットワークおよびプライベート・ネットワークのアップリンク 2x10Gbps (ボンディング))

1.4 IBM Compose Enterprise Starter for AWS

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。仮想プライベート・サーバー m4.xlarge (Intel Xeon E5-2676 v3、vCPU 4 個、16GB RAM、120GB GP SSD EBS)

1.5 IBM Compose Enterprise Transactional for AWS

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。仮想サーバー r3.2xlarge (Intel Xeon E5-2670 v2 (Ivy Bridge)、vCPU 8 個、61GB RAM、915GB GP SSD EBS)

1.6 IBM Compose Enterprise Large Transactional for AWS

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。仮想プライベート・サーバー r3.8xlarge (Intel Xeon E5-2670 v2 (Ivy Bridge)、vCPU 32 個、244GB RAM、3.66TB GP SSD)

1.7 クラウド・サービスのキャパシティー

「インスタンス」のキャパシティーは、サービスの「デプロイメント」の種類および数量によって異なります。「デプロイメント」とは、「クラウド・サービス」の「インスタンス」に導入されたサポート対象のデータ・サービスの各インスタンスと定義されます。各データ・サービスには、割り当てられる RAM、ディスクおよび IOP 間の配分が設定されており、HA レプリケーション・アーキテクチャーは、サービスによって異なります。MongoDB、Elasticsearch、PostgreSQL および RethinkDB では、ディスク 1GB あたり 1GB RAM、Redis では、ディスク 256M あたり 256MB RAM、etcd および RabbitMQ では、ディスク 1GB あたり 256MB RAM が設定されています。

新たなサービスの「デプロイメント」については、既存の「デプロイメント」への「インスタンス」の RAM の割り当てが 80% になるまでインスタンス化することができます。この時点で、既存の「デプロイメント」は、RAM が利用できる範囲で、引き続き拡張が可能です。

導入されたデータベースの数量および種類に基づいてキャパシティーを算出するための、インタラクティブなサイジング・ツールが利用可能です。

2. セキュリティーの内容

「クラウド・サービス」は、IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」(<https://www.ibm.com/cloud/resourcecenter/content/80> で入手可能) および本項で規定される追加条件に従うものとします。IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」が変更されることがあっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティのレベルが低下することはありません。

3. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」に対する「テクニカル・サポート」が、電子メール、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。

IBM は、「テクニカル・サポート」の連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。Compose の拡張レベルの「テクニカル・サポート」は、「クラウド・サービス」で提供されますが、個別のオフアリングとして提供されるものではありません。

本サービスのすべてのユーザーは、IBM Software as a Service Support Handbook の Compose の項に定義された拡張サポート・レベルの使用許諾を有しています。

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に規定されている課金期間中にアクセスおよび使用が可能となる「クラウド・サービス」の各「インスタンス」のために十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

4.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

5. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるのか、継続使用ベースで続行されるのか、期間満了時に終了するのかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の90日前までに書面により更新しないことを通知する場合は除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続使用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

6. 追加条件

6.1 Public Pay As You Go サービスへのアクセス

お客様は、「クラウド・サービス」から Compose.io の Pay As You Go (PayGo) サービスにアクセスすることができます。この PayGo サービスは、「クラウド・サービス」に含まれておらず、Compose, Inc. の Terms of Service (<https://help.compose.io/docs/terms-of-service/> に掲載) が適用されます。PayGo サービスの使用については、IBM Company である Compose, Inc. から直接請求されます。

6.2 Cookie

お客様は、IBM が「クラウド・サービス」の通常の運用およびサポートの一部として、トラッキングおよびその他の技術により、「クラウド・サービス」の使用に関連してお客様(お客様の従業員および従契約者)から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「クラウド・サービス」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

6.3 サービス・レベル目標

IBM は、お客様に対し「クラウド・サービス」を利用できるようにした後、以下の「クラウド・サービス」に関するサービス・レベル目標(以下「SLO」といいます。)を提供するものとします。

IBM は、以下によって、99.9% のサービス可用性を SLO として提供します。

- a. コンソールに接続する能力。
- b. 利用可能なキャパシティの範囲内で、新規のデータベース「インスタンス」をプロビジョニングする能力。
- c. データベースの各「インスタンス」に対する接続の可用性。

この時点では、サービス・レベル・クレジットまたは報告は提供されません。